

2018年9月27日

株式会社ラック

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

【国内初】ラックを代表する監視サービス「JSOC®」にサイバー保険を付帯 ～サイバー攻撃への「守り」と「備え」を一体として提供～

株式会社ラック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西本 逸郎、以下「ラック」）と損害保険ジャパン日本興亜株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、2018年10月1日から、ラックを代表するセキュリティ監視サービス「JSOC® マネージド・セキュリティ・サービス(MSS※)」にサイバー保険を付帯した国内初のパッケージ商品、『事故補償パック for JSOC』の提供を開始します。本商品の販売を通じ、お客さまにサイバー攻撃への「守り」と「備え」を一体で提供します。

1. 商品開発の背景

サイバー攻撃は攻撃者が圧倒的に優位な立場であり、企業は侵入されることを前提としたセキュリティ対策が求められています。またサイバー攻撃による事件・事故の被害は、情報の窃取だけでなくITシステムそのものが破壊されるなど深刻度を増しています。今後、日本企業は、デジタルトランスフォーメーションを進めていくうえで、サイバー攻撃の脅威を経営課題と認識し対策を取ることがこれまで以上に求められています。

このような脅威に対して、企業ではいかに迅速に被害を最小限に抑えられるか、また万一に備えられるかが重要となっています。例えば自動車社会には保険による補償があるため、事故があった際、迅速に被害者の救済が可能であり、安全安心な自動車社会の発展に寄与してきました。しかしながらIT社会において、実際に事件・事故が起きた際の影響は非常に大きいものの、保険と連動した事故対策への意識はいまだ低い状況にあります。

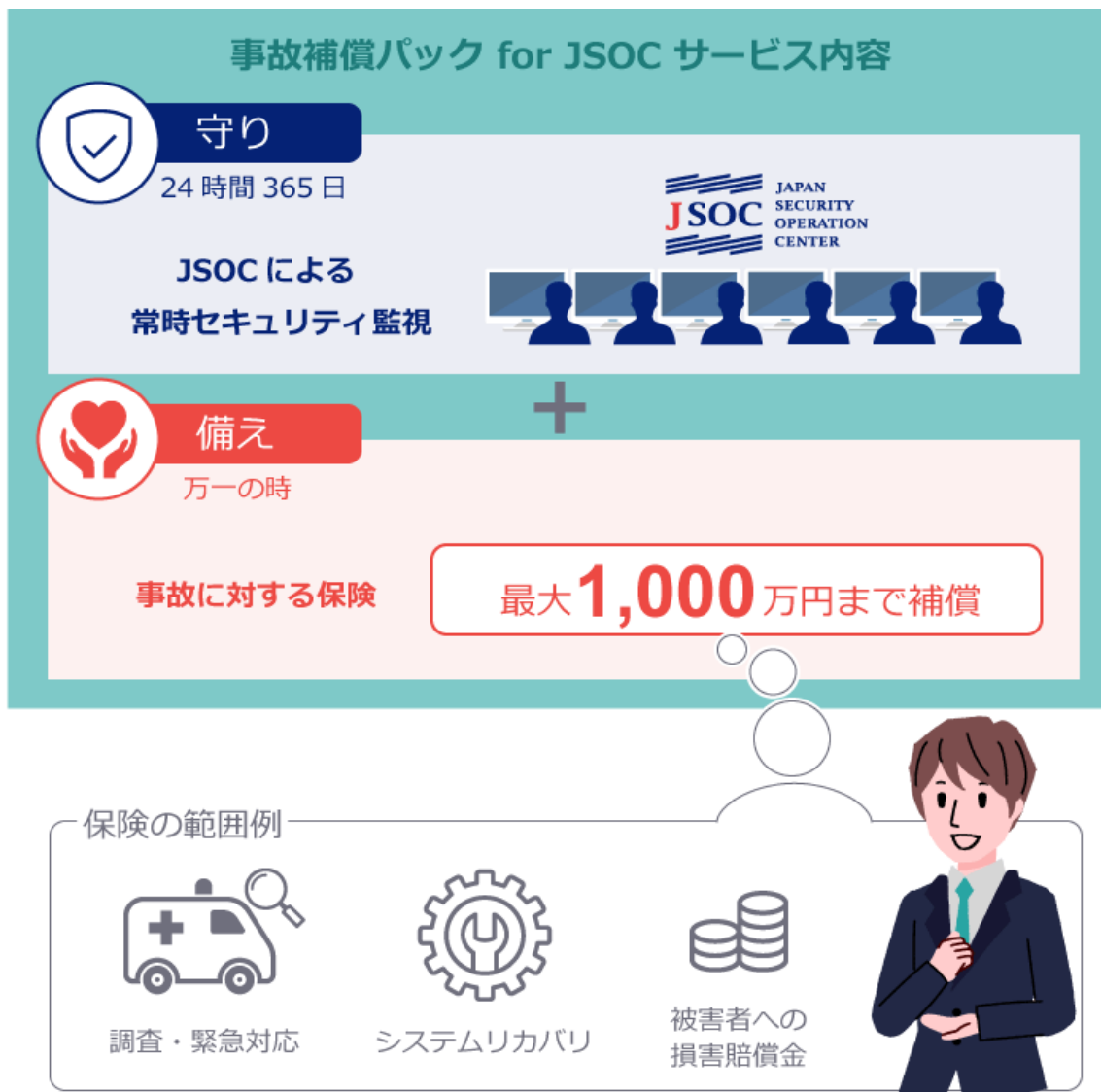
こうしたなか、ラックと損保ジャパン日本興亜は、「守り」と「備え」が一体となって、企業のサイバーリスクへの対応力向上に貢献する『事故補償パック for JSOC』を提供いたします。

ラックが提供するセキュリティ監視センター「JSOC」は、日本におけるMSSのパイオニアとして、お客様のネットワークを24時間365日リアルタイムで監視しています。内部に潜んだマルウェア（悪意のある行為を行うプログラム）などの挙動もセキュリティアナリストが常時監視し、サイバー攻撃への早期対策に貢献しています。

本サービスは、この「JSOC」に損保ジャパン日本興亜が提供するサイバー保険を付帯したサービスであり、サイバー攻撃を受けた際、まずは専門家による緊急対応などで迅速な対応を取ることが可能となります。さらにシステムの再構築の費用、被害者への損害賠償金の補償など、様々な経済的損失を補填できます。

※MSS（マネージド・セキュリティ・サービス）は、ネットワーク上に設置されたセキュリティ対策機器を運用し監視するもので、セキュリティのプロフェッショナルが不正アクセス等のサイバー攻撃を検知・分析するサービスです。ラックでは「JSOC（Japan Security Operation Center）」が提供するサービスです。

2. 『事故補償パック for JSOC』の特長



- JSOC が提供する MSS の品質と実績を評価し、最大 1,000 万円までの補償を受けられるサイバー保険を付帯した特別なパッケージ商品です。補償はサイバー攻撃に関する調査費用だけではなく、事故からの復旧、システムの再構築の費用、被害者への損害賠償金の補償など、幅広い目的に活用することができます。
- 通常のサイバー保険の契約時に必要な告知書の提出は不要です。ラックの JSOC を導入する企業のセキュリティ状況を加味し、セキュリティサービスに一体化することで保険ご加入の手間を軽減します。
- 通常、サイバー攻撃は取引先や警察など公的機関からの指摘により判明することがあり、社会的な信用失墜につながるケースが多くあります。『事故補償パック for JSOC』では、JSOC がサイバー攻撃をリアルタイムで検知し被害が拡大する前に、契約者へ報告を行うことで、保険を適用したりリカバリー行動が可能となります。
- サイバー保険の加入により、サイバーインシデント対応に要する費用を事前に予算化する効果が期待できます。これにより、実際にサイバーインシデントによる被害が発生した場合に、対応費用捻出の社内稟議等を省略し、すぐにリカバリー対応を取ることができるため、被害の拡大を抑える効果が期待できます。

3. 提供価格

JSOC との契約内容により提供価格が異なるため個別見積もりになります。

4. 目標契約数

すでに JSOC を導入いただいているお客様と新規契約のお客様をあわせて、2年間で1,000社の契約数を目指します。

5. 今後について

両社は、デジタルトランスフォーメーションの進展に潜むサイバーリスクを「セキュリティ」と「保険」で下支えし、安全安心な IT インフラの構築を支援していきます。

【株式会社ラックについて】 (<https://www.lac.co.jp/>)

ラックは、1986年にシステム開発事業で創業、多くの実績を誇る「金融系の基盤システム開発」「マーケティング・オートメーション支援」「ビッグデータ・アナリティクス」を始め、社会の基盤システムの開発を行っています。1995年にはいち早く情報セキュリティ事業を開始し、現在ではサイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーとして、官公庁・企業・団体等のお客様に業界屈指のセキュリティ技術を駆使した、先端の IT トータルソリューションサービスを提供しています。

- * ラック、LAC、JSOC は、株式会社ラックの国内及びその他の国における登録商標または商標です。
- * その他、記載されている会社名・団体名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。

以上